

文楽 × ワカイチカラ



太夫



三味線



人形

国立文楽劇場では、文楽研修生を募集し伝承者の養成に取り組んでいます

人形浄瑠璃文楽は、義太夫の語りと三味線、人形遣いの三業が
1つの舞台を作り上げる総合芸術です。

江戸時代初期に大坂で生まれ、今日ではユネスコの「人類の無形文化遺産の代表的な一覧」に
記載されるなど、類まれな完成度を誇る芸能です。



お問い合わせ先

午前10時～午後6時
土・日・祝日・年末年始・7月1日を除く



独立行政法人 日本芸術文化振興会

国立文楽劇場 養成係

〒542-0073

大阪市中央区日本橋1丁目12番10号 TEL.06(6212)5529

<https://www.ntj.jac.go.jp/training/group/bunraku.html>

文楽×ワカイチカラ

文楽研修

文楽の技芸員(太夫・三味線・人形)になるための基礎教育を行うことを目的としています。

昭和47年(1972)に財団法人文楽協会(現・公益財団法人文楽協会)の協力を得て開始しました。

研修開始当初は、研修生全員が太夫・三味線・人形遣いの基本を学びます。

適性審査で専攻を決定後、それぞれの専門分野にわかれて、より実践に近い技芸を習得していきます。

研修修了後は、幹部技芸員に入門して公益財団法人文楽協会と契約し、技芸員として舞台に出演することになります。

太夫



太夫の使命は、感情をもたない人形に生命を吹きこむことです。登場人物すべての台詞・心理・動作などを1人で語り分け、物語を展開していく重要な役割も担っています。

太夫の専攻課程では、義太夫節独特の発声法や的確な表現の習得をめざして、様々な曲目を履修します。

三味線



文楽の三味線は太棹三味線と呼ばれます。各種の三味線の中でも太く低い響きを持ち、劇的効果をより高める働きを持っています。

三味線弾きは浄瑠璃の感情を表現できるよう、太夫の呼吸に添う演奏を求められます。専攻課程では基本奏法の習得に加え、音色で感情を表現することを学んでいます。

人形



文楽の人形は、一体の人形を操るのに3人の遣い手が必要です。分担する役割によって、主遣い・左遣い・足遣いと呼ばれます。3人のイキがひとつになって初めて、流れるような美しい演技が生まれるのです。研修では、人形遣いの出発点ともいうべき“足遣い”を中心に履修します。専攻課程に入ってから、実際の文楽公演での舞台実習も多くなります。

- 研修期間 = 2年間
- 研修時間 = 原則として平日10時～18時。
ただし、土日祝日や18時以降に及ぶこともあり。
- 研修場所 = 国立文楽劇場(文楽東京公演時は、国立劇場他)。
- 研修科目 = 太夫・三味線・人形ほか。
- 受講料 = 無料
- 宿舍貸与制度あり(審査あり、有料)
- 研修開始後8か月以内に適性審査を実施します。
合格者は、専攻(太夫・三味線・人形)を決定します。
不合格の場合は、研修生の身分を失います。
- 適性審査合格者には、伝統芸能伝承奨励費の貸与資格が与えられます。

定期的に研修生の募集を行っています。
詳しくはお問合わせください。

応募資格	中学校卒業以上の男子で、原則として23歳以下の者。 経験不問。
選考方法	面接、作文と簡単な実技試験を行います。 可否の結果は即日発表します。
選考場所	国立文楽劇場(大阪市)
受験料	無料

https://youtu.be/URgc_hYYS04



お問合わせ先

午前10時～午後6時
土・日・祝日・年末年始・7月1日を除く



独立行政法人 日本芸術文化振興会

国立文楽劇場 養成係

〒542-0073

大阪市中央区日本橋1丁目12番10号 TEL.06(6212)5529

<https://www.ntj.jac.go.jp/training/group/bunraku.html>